

川越市退職校長会だより

川越市退職校長会会長 須ヶ間 章



感染に配慮しつつ活動の充実を

川越市退職校長会
会長 須ヶ間 章

令和5年4月6日に川越市退職校長会の定期総会が4年ぶりに対面の形式で開催され、6名の新会員を迎えて令和5年度がスタートしました。ここ数年、コロナ感染拡大防止の観点から書面での開催が続いていましたが、会員の皆様が顔を合わせての開催に安堵したところです。

今年の5月から新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類感染症に変更され、社会生活も徐々に平常に戻りつつありますが、コロナ感染が終息したわけではありませんので、活動に当たっての更なる配慮も必要であります。

市退職校長会としましても、このことを踏まえつつ、作品展の引き続きの開催とともに、ここ数年中止としていました研修については11月に実施する予定で計画を立案しているところでございます。更に、市ホームページにつきましても今年度中の開設に向け準備を進めています。

また、5月13日には入間地区退職校長会の総会、6月2日に県退職校長会の総会が開催され、今年度の事業計画等が承認されました。いずれの会におきましても、計画した事業が予定通り実施される5年度であってほしいと思います。

終わりに、今年、鯨井愛子氏、中田博司氏、高橋喜美子氏の3名の方が米寿を迎えられます。その前期分として、2名(鯨井氏、中田氏)の方へ全国連合退職校長会からの賀詞と県退職校長会からの寿詞をお届けしましたことをご報告申し上げます。

第11回作品展「毎日が青春!」を終えて

川越市退職校長会作品展実行委員会
委員長 木下 重美



皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。今回も昨年同様4月20

日から23日を会期に、市立美術館の市民ギャラリーを会場にして開催いたしました。

連日、会場内ではあちこちに旧交を温める和やかな歓談の姿が見えました。昨年には見られなかった、精密な模型や陶芸作品の新出品、そして、押し花の復活があり、最終日のギャラリートークで盛り上がりを見ることができました。しかし書の部門及び文芸部門の俳句、折り紙研究会の作品など作品が見えませんでした。皆様にはご健勝に復帰されますようご期待しております。4日間の来場者は総数327名を数え閉幕でき、多くの成果を得て喜んでおります。ご来場そしてご出品くださった皆様方、準備から運営にご尽力くださった役員の皆様に心から感謝申し上げます。

実行委員会では次回に向けアンケートの反映と反省会を経て、次回への準備をしております、皆様には、健康と生きがいを持って青春のような毎日をお過ごしください。またお会いできますことを楽しみにしております。



第11回作品展 出品状況

出品者数		出品作品数	
23名 (出品者数)	9	絵画	21
	0	書	0
	5	写真	12
	8	工芸	21
	2	文芸	8
	2	手芸	72
	1	その他	1
延べ人数	27	合計	135



塚原まり



鈴木登喜夫



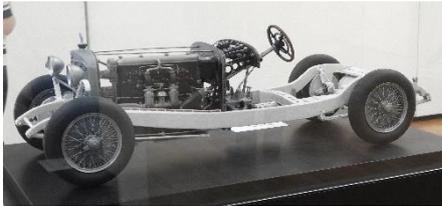
高橋 等



谷川輝之



木下重美



熊田憲明



高木 登



田幡美佐男



秋山武敏



木下重美



中山日出子



利根川栄子



加藤健二



黒田 健



ご挨拶

本日はご多用の中、ご参加いただきありがとうございます。
 私たち会員は退職後、日々それぞれ趣味や特技として絵画・
 書・写真・工芸などに没頭し、その制作に生きがいを感じてお
 ります。それらを一般に展示発表することによって、目交を促
 めるとともに川越地域の文化振興に寄与することを目的とし
 ています。

さて、この度第11回作品展を開催する運びとなりました。
 昨年とは年ぶりの開催でしたが、多くの皆様にご来賓とご栄
 誉を賜り心より感謝しております。今後も作品制作に全力を注
 いで参りますので、皆様からの応援のないご意見を指導を賜り
 たく存じます。

また、今回も退職公務員連盟川越支部のご協力をいただい
 ております。今後一層の連携強化を図り、更に充実した作品展と
 なるよう力を合わせてまいります。

本日は誠にありがとうございました。

会員一同

新入会員紹介

令和5年度の新入会員の皆様より、「新入会員の言葉」としてご挨拶を頂きました。

内野 博紀

令和4年3月末をもちまして、定年退職し、川越市退職校長会に加えていただくこととなりました。在職中は、諸先輩方からご指導ご支援をいただき、校長職を務めることができました。4月から、川越市教育委員会地域教育支援課で人権教育に携わらせていただいております。これまでの経験を活かしつつ、新たな学びを加え、川越市に役立てるよう取り組んでいきますので、退職校長会の皆様から、引き続き、ご指導ご鞭撻をお願いします。

福田 和子

中学生の成長に関わることのできた教職人生は何ものにも代え難い宝となりました。その間、多くの先輩方に支えていただき、本年3月定年退職を迎えることができました。また、様々な学校教育の課題がある中、校長職を全うすることができましたのも、先輩校長の皆さまのおかげと感謝しております。

4月からは、家で畑や田んぼをやっています。慣れない仕事が多く、毎日があっという間です。今後ともよろしく願いいたします。

井口 修一

令和5年3月末、無事に定年退職を迎え、36年間の教員生活を終えることができました。23年前、初めて川越市に赴任した時、右も左もわからなかった教員が、今回川越市退職校長会のお誘いを受け、恐縮しているところです。

コロナ禍もようやく収束の兆しとなり、新しい生活が始まろうとしているこの春、学童特認指導員として、自身の経験を生かしていきたいと思っております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

中野 浩義

曆前に読んだ書籍に老いを迎える際の心構えとして、「①見栄や肩書を捨て、本当に必要なものだけ残す。②老いは前向きにあきらめる。」などが紹介されていました。同時期に読んだ別の書籍には、現代は情報が溢れているため、情報収集は容易だが、それを鵜呑みにせず、自分の考えを持つことが大事とありました。このことを踏まえ、前述の心構えに対して自分は、「①緩く取捨選択。②あきらめずアンチエイジング。」と考えました。先の書籍には、挑戦も勧められていたこともあり、何か新たなことにも挑戦したいと考えています。

天達 新一

本年3月をもって定年退職を迎えました。36年の教職生活を通して、様々なご指導を賜りました。ありがとうございました。4月からは拠点校指導教員として、市内中学校4校で5名の初任者研修を担当しております。これまで育てていただいた恩返しの気持ちをもって後進の育成に努めてまいります。この度、退職校長会に加えていただきました。諸先輩方から今後ご指導いただけること、楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

中村 健二

令和5年3月末日をもちまして、定年退職を迎えることができました。これも諸先輩校長先生方の温かいご指導のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

現在は国立研究開発法人科学技術振興機構にお世話になり、理科好きな子どもたちを支援するお手伝いをさせていただいております。新しい仕事は初めて経験することばかりですが、今までご指導いただいた経験を活かし、精一杯尽力する覚悟です。今後ともご指導ご鞭撻をよろしく願いいたします。

〔編集後記〕

今年度は、6名の新入会員がいましたが、来年度は、定年退職年齢が61歳になります、新会員紹介コーナーは。